

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット
代表者・役職名 氏名 代表理事 浅井和英

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

カンボジア・ユースクライマー支援プロジェクト

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

カンボジアは1970年頃より四半世紀に及ぶ内戦と虐殺で多くの国民を失いました。知識層や高僧を選択的に粛清されたことや、内戦中に蔓延した汚職などの影響が今なお残る現地で、青少年の健全育成は、重要な課題です。また、日本人である我々が彼らに寄り添いつつ指導できる分野のひとつであると考え、2008年に任意団体として設立し2014年にNPO法人化、現在個人正会員は48人です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

設立当時は、カンボジアのスポーツの多くは賭け事の対象でした。その後、日本をはじめ諸国のスポーツ支援により少しずつ健全な方向へと動きだしてはいるものの、ルールに則った競技を整然と実施するためには、国際交流が必要です。そのため2013年・2015年と、高校生を日本の大会に参加させました。一方日本人にとってはアジアの国は未だに近くて遠い国です。中でも戦後復興をまだ終えることのできないカンボジアの現状を知っていただき、同じアジアの国の選手がなるべく同じ条件で競技に取り組む機会を作るため、このプロジェクトを実施しました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. 多摩地区の公民館等で、昨年度真如苑の助成により実施した「カンボジア・ユースクライマー研修プロジェクト2015@日本」で、研修生が何を学んでいったかを紹介しました。また、学んだ内容をカンボジアへ帰国後に、どのように生かしているかを知らせるため、ACNがカンボジアで開いている競技会の動画を上映しました。同時に、途上国への技術の伝え方について、ロープワークを例に、共に考えました。
2. 研修生が伝えていったカンボジア料理を多摩地区の皆さんと一緒に作って食べました。
3. 会員と支援者合同の高尾山ハイキングを行い、ACNの活動の様子を知らせ、今後カンボジアで自然の岩や山に取り組んでいく可能性をともに考えました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果: 1.報告会・上映会 6/25 町田市モンベル店内サロン 7/10 多摩市関戸公民館 8/7 調布市味の素スタジアム会議室 9/10 調布市民会館たづくり談話室 9/25 府中市クライミングジムウエストロック 2.カンボジア料理の会 9/10 調布市民会館調理室 3.ハイキング 10/23 八王子市高尾山 合計 90 名ほどの参加がありました。

成果: あまり盛況だったとは言えませんが、期間中合計で 2000 枚ほどのチラシを、クライミングジム中心に約 30 箇所に置いてもらったことにより、会員申し込みや、現地訪問の問い合わせがあり、3 人の新会員がカンボジアへ渡航しました。

効果: このような顔の見える支援を続けていくことにより、「カンボジア青少年の健全育成」への効果は前進しています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

私たちはカンボジア限定で一つのスポーツのみを支援する小さい活動団体ですがそれに参加し継続することで、互いに得るものがあります。人数を集めるという点では、上映会・報告会中心の本企画には限界がありました。同時期に参加したお台場グローバルフェスタのミニ人工壁へは 2 日間に 300 人の来訪者があったことに比べると、人数では劣ります。ですが、今回の助成により会員が増えたことは誠に有難いことでした。期間中にオリンピックの追加種目となり、今度は逆にお金儲け目当ての企てに注意が必要になってきました。カンボジアの青少年健全育成という所期の目的を忘れず前進するために更に現地と繋がっていけるよう努力したいと考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

カンボジアのクライマーを東京オリンピックへ

真如苑助成

2015年カンボジア ユース クライマー研修@日本報告会
第5回 アンコールカップ @シェムリアプ クライミング上映会

9月25日(日)
19:30~21:00

上映会中に限り出入自由・入場無料

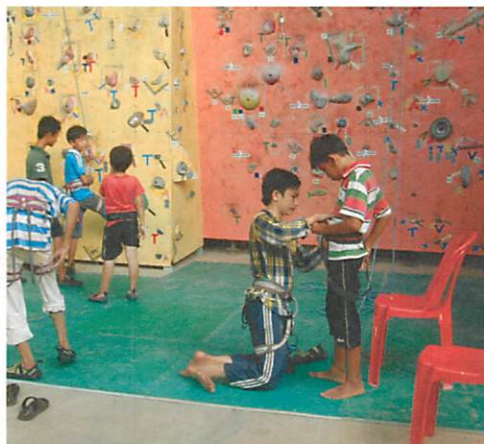
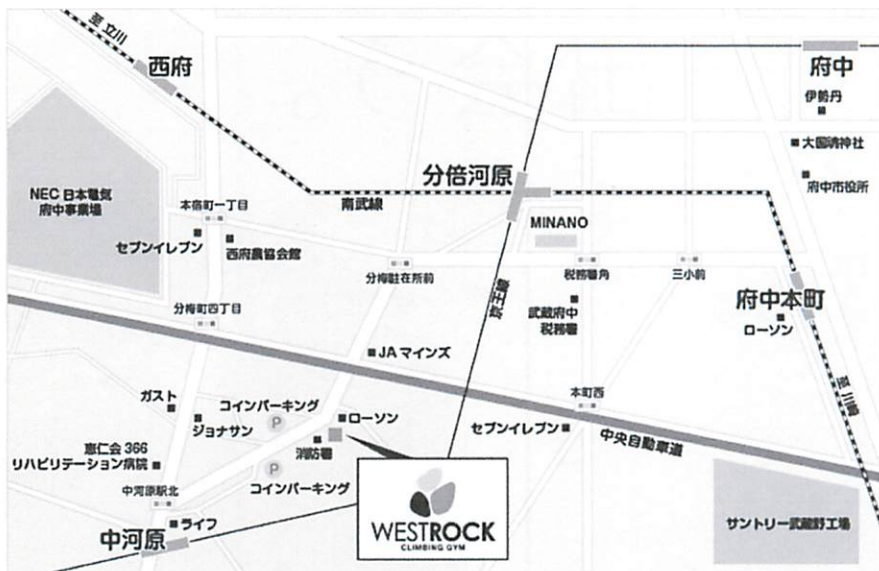
ウエストロック 府中店 3階

京王線 中河原駅 徒歩5分

京王線・南武線 分倍河原駅 徒歩10分

ウエストロック 府中店の施設情報は下記URL

www.westrock-climbing.com/intro_fuchu/



ACNのウォールでクライミングを習う子供達



アンコールカップの様子



日本研修、長野県山岳総合センターにて



カンボジアとは

東南アジアのタイとベトナムの間にある、世界遺産アンコールワット遺跡で有名な国です。内戦中に埋められた地雷が未だ残っていることや、多くの人材を失った事が戦後の教育レベルの向上の足かせとなっているなど、傷跡が深く残っています。



お問い合わせ先

特定非営利活動法人 アンコール・クライマーズ・ネット 〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506 Tel & Fax: 042-498-2488

✉ info@angkorclimbers.net [angkorclimbersnet](https://www.facebook.com/angkorclimbersnet) www.angkorclimbers.net

カンボジアのクライマーを東京オリンピックへ

真如苑助成

カンボジアユースクライマー支援プロジェクト

高尾山ハイキング

10月23日(日) 京王線 高尾山口駅前
午前9時30分集合 (解散16時頃予定)



コース 登り: 稲荷山コース または ケーブルカーと1号路 下り: 3号路と1号路 または 3号路とリフト

参加費(当日) 大人 1000円、中高校生 500円 持ち物 弁当、飲料水、帽子、雨具、防寒具、保険証コピー、ゴミ袋

※参加される方の年齢・体力やその日の天候・乗り物の混み具合で、登り下り各2コース以上作ります。 ※雨天中止、小雨実施、前日中に中止判断をした場合は、申し込みされた方には、ACNから電話連絡します。 ※参加費には保険料と天狗焼き代を含みます。 ※徴収した参加費から必要経費の残りをカンボジアのスポーツクライミング育成のために寄付願います。 ※事前のお申し込みなしでも参加は可能ですが、その場合は一日掛け捨て保険がかけられないことをご了承ください。

申し込み info@angkorclimbers.net ☎ 090-5206-0512 (有泉まで)



ACNのウォールでクライミングを習う子供達



アンコールカップの様子



日本研修、長野県山岳総合センターにて



カンボジアとは

東南アジアのタイとベトナムの間にある、世界遺産アンコールワット遺跡で有名な国です。内戦中に埋められた地雷が未だ残っていることや、多くの人材を失った事が戦後の教育レベルの向上の足かせとなっているなど、傷跡が深く残っています。



お問い合わせ先

特定非営利活動法人 アンコール・クライマーズ・ネット 〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506 Tel & Fax: 042-498-2488

info@angkorclimbers.net facebook.com/angkorclimbersnet www.angkorclimbers.net